

# 法相と総務相 靖国参拝

## 第3次安倍内閣、閣僚で初

岩城光英法相、高市早苗総務相は18日午前、東京・九段北の靖国神社を秋季例大祭に合わせて、それぞれ参拝した。第3次安倍改造内閣発足後、閣僚の参拝は初めて。靖国神社に東京裁判のA級戦犯が合祀されていることを踏まえ、韓国外務省は「韓日中首脳会談などを通じ韓日関係改善を自指すわれわれの努力と相反する」と反発した。中国メディアでも批判した。

岩城氏は参拝について「國のために戦い、尊い命をささげられた。英靈に感謝の誠を表すためだ。今年は戦後70年の節目の年であり、平和への思いを新たにしたい」と記者団に説明。高市氏は「み霊に心から感謝の気持ちをもよおせた」と述べた。中韓の批判を招く可能性があるとの指摘に、岩城氏は「國のために命をささげた方々に敬意を表するのは、どの國

も同じ。それぞれの国の伝統に従い行われるものだ」と強調した。高市氏は「戦争への後世の評価と慰霊は分けて考えるべきだ。外交問題になる性質のものではない」と語った。両氏は玉串料を私費で納め

参る=東  
社者え相  
神記者務前  
参問市日北  
拜高九段  
賀京



た。記帳は「内閣総理大臣 岩城光英」、「総務大臣 高市早苗」とした。高市氏は昨年9月の総務相就任以降、昨年の秋、今年春の各例大祭、8月15日の終戦記念日のいずれも参拝している。安倍晋三首相は10月17日、

「内閣総理大臣 安倍晋三」名で「真榊」と呼ばれる供物を奉納した。20日までの例大祭期間中の参拝は見送る。首相は2013年12月、就任後初めて参拝した。例大祭には参拝せず、真榊を奉納している。

「アジア諸国との関係緊張させる」中国・新華社【北京共同】中国国営通信の新華社は18日、岩城光英法相、高市早苗総務相による靖国神社参拝を伝え、「日本の

### Q&A

靖国神社 太平洋戦争などで戦死した日本軍の軍人や軍属ら約250万人を祭る神社。戊辰(ぼしん)戦争で死した官軍兵士の慰霊のため1869年に建てられた東京招魂社が前身。戦前は国家神道の精神的支柱で、戦後に政教分離で宗

教法人化された。毎年4月と10月の春季・秋季例大祭が重要な祭事とされる。1978年に東条英機元首相らA級戦犯14人を合祀した。安倍晋三首相が2013年12月に参拝した際、中韓両国は猛反発し、米國も「失望」を表明した。

一部政治家が参拝を続けていることは中国や韓国を含む

むアジア諸国と日本の関係を緊張させている」と批判した。

また、新華社英語版は安倍晋三首相による神社への「真榊」奉納について「参拝は控えたものの、ソウルでの中韓日首脳会談を予定している中で挑発的な動きとみられている」と論評した。